

行政調査報告

厚生産建常任委員会

7月14日から16日まで2泊3日の日程で行政調査に行ってきました。

1日目の京都府精華町では、災害時、要配慮者地図情報システムの作成について説明を受けました。要配慮者範囲は、乳幼児0〜3歳1100人、満65歳以上の高齢者1700人が登録となつているとのことです。

放課後児童クラブの取り組みについては、人口増加率が日本一、環境のなかにあり学童保育の児童が増えています。小学校は5校あり児童は3000人で学童保育には500人通っており、指導委員は20人に一人ついでやっています。学童保育の希望者は、全員入れる方針で待機者はいないとのこと。

2日目の15日は、奈良県明日香村での農産加工グループの活動と販売について意見交換をしました。人口3000人で村全体が遺跡の上に存在しているため、いろいろな面で制約・規制がある

りますが国からの支援・補助が出ています。いろいろな事業をおこなっていました。

具体的取り組みとして農業の振興・豊かでのりの村づくり・歴史的風土の景観保存でした。村の職員3人が、明日香村地域振興公社に出向して積極的に関与しているのが印象的でした。

最終日の16日は、兵庫県神戸市淡河町のゾーンバスの運営・交通弱者対



神戸市淡河町での視察

策について話を聞くことが出来ました。NPOによる法人化・地域住民によるバスを守る会を組織し、福祉施設のバスなどを利用し、経費の軽減をはかりながら診療所・帰宅支援・グラウンドゴルフ・福祉施設への送迎をしていました。

行政調査のなかで感じたことは、行政・民間が一体となり積極的に取り組んでいることでした。

(記 関 幸悦)

広報特別委員会



全国各地の議会報

学んできた親しみのある議会報づくり

「より親しみのある読まれる議会報」を学ぶため、8月25・26日に東京で開かれた全国町村議会広報研修会に行ってきました。二日間の講義は、専門の分野からのもので深い内容のある印象に残るものでした。

議会報をいかにして読んでもらえるかや、文章の内容・表現・表記の仕方、レイアウトなど、わが町の議会報に取り入れて改善すべき点がたくさんありました。

議会報や町広報、さらに議会そのものもインターネットなど多様な方法で情報を発信し、受け手にどのようにして読んでもらえるか、どうアクセスしてもらえるかを常に意識しなければならぬ時代であることを知らされました。情報が無限大に拡大する現代の社会では、発信の方法も受ける方法も革命的な変化が起きていることを実感しました。

(記 遠藤宏司)

山辺中学校学校建設特別委員会が大石田中を視察

学校統合の問題は

7月21日山辺町議会「山辺中学校建設特別委員会」が大石田統合中学校建設までの経過や建設中の問題を勉強に訪れました。

山辺町でも小規模中学校2校を含め現在3校ある中学校を1校にしたいと検討しているが、なかなか進んでいない旨説明があり「どうすれば進むのか、進んだのか」「建設総費用は」「自己財源はどれくらい必要か」等、矢継ぎ早に次々と質問を受けました。

わが町も統合問題発生



大石田中学校を視察した山辺町議会

以来長い年月を経過し、また、建設場所決定に議会で激論が交わされた。決定後建設期間が2年と超短期間しかなかったが、建設中の平成20年から21年は国の景気浮揚対策で地域活性化特別交付金等大規模な交付金があったり、建設補助金基準単価が大幅に増額され、また多額の入札請差が生じたこと等によって自己財源負担が大幅に縮小されたことなどを担当課長が説明をしました。山辺町でも是非参考にして進めたいと感心しながら新装になった校舎、体育館を視察して帰られました。

(記 小林征雄)

交流を深めあったグラウンドゴルフ

議員交流事業

10月8日(金)、3市1町議会議員交流グラウンドゴルフ大会が、旧大石田高校グラウンドに議員42名が参加して開催されました。

議員の交流を通じて北村山管内の情報交換と議員相互の親睦をはかることを目的に、各議会が持ち回りで実施しているものです。

今年度は当議会が主催し、大石田町グラウンドゴルフ協会役員の皆さんのご協力のもと、熱戦を展開しました。



珍プレー好プレーに歓声

天候にも恵まれ、参加議員は平らなコートながらもボールコントロールが難しいため珍プレー好プレーに歓声があがり、日頃の運動不足の多い議員ですが、楽しくさわやかな汗を流しました。

競技終了後は、会場をあっさりランド深堀に移動して、表彰式と懇談会を開催、グラウンドゴルフに負けない、和気あいあいのムードで議員相互の親睦を深めました。

(記 芳賀 清)